



発行：自由ヶ丘地区
コミュニティ運営協議会
住所：自由ヶ丘3-12-11
TEL：32-5594 FAX：35-3250
メール：jyuugaoka-cc@oboe.ocn.ne.jp
http://www.jyuugaoka-cc.com/

自由ヶ丘人口調査
【令和7年9月30日現在】
世帯数 6,414世帯
人口 14,427人
男性 6,829人
女性 7,598人



自由ヶ丘コミセンとはどんなところ？ コミセンでは何をしているの？

ひろばをお読みのみなさん！自由ヶ丘コミセンを利用したことがありますか？

「一度も行ったことがないなあ」「コミセンって何をするとこ？」「どんな人が利用するの？」と思っている人もおられるのではないのでしょうか。今回はコミセンの役割や目的、活動をわかりやすくお話ししますので、ぜひ読んでいただきたいと思います。

1 自由ヶ丘コミセンの歴史と コミセンの役割はどんなもの？

平成元年に、昭和48年開設の自由ヶ丘公民館が「自由ヶ丘地区コミュニティ・センター」に改められ、平成12年には、宗像市から委託を受けて自由ヶ丘全体のまちづくりを目的とした現在の「自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会」が誕生しました。

コミセンは、地域と行政のつなぎ役、地域住民の福祉向上や交流、相互支援など、よりよいまちづくりを目的とした活動を行うところとされています。



3 コミセンとしての活動団体 はどんなものがあるの？

具体的には8つの部会などが、さまざまな活動をしています。自治会運営を話し合う「区長会」まちの安心・安全のための「安全環境部会」子どもたちのための「青少年育成部会」住民福祉のための「健康福祉部会」の4つの部会の他に、「ジェンダー平等推進会」「子どもおとな会議」「自由ヶ丘太鼓会」「広報委員会」があり、それぞれがより良いまちづくりや住民の交流促進を図って活発な活動を行っています。

2 具体的にはどんな人たちが運営しているの？

当コミセンの基本的な運営方針や活動は、協議会の会長以下12人の住民による役員会において協議され、さらに多くの住民で構成される運営委員会や総会で決定していきます。例えば今年度は、『みんながつながる、生き生きと住みたい自由ヶ丘』を目指して「第3次自由ヶ丘まちづくり計画の作成」や、利用しやすい安全なコミセンを目指した「館内の土足化の是非」「駐車場の車両通り抜け安全対策」「災害時避難所としてのコミセン復活」「コミセン内の防犯対策」などの課題に取り組んでいます。



4 具体的にはコミセンでは どんなことが行われているの？

ホールや大小の会議室を利用して、各種趣味教室、そろばん教室、英語教室、スポーツ教室など123もの教室があり、毎日多くの住民が来館されています。

また、館内には休憩スペースや学習スペース、図書コーナーもあり、本の貸し出しもしています。

さらに、駐車場においては毎週「火、木、日」に資源ごみの受け入れサービスや、事前予約による自宅から分別ごみ回収場までの引取り・運搬のサポート事業も行っていきます。



お役に立ててうれしいです！

子どもおとな会議の継続班の活動が実を結びました！

最初はSDGs活動をしたい！不要な服をリサイクルして何か作ってみよう！から始まった活動でした。そこから作ったものはどこかで役に立てられないかということで地域包括支援センターへ相談。自由ヶ丘にある高齢者施設のみなさんにどんなものが欲しいかアンケートを取り「薬とか入れられる巾着が欲しい」をきっかけに制作開始。不要になった衣類を活用し、型紙に合わせて切り出し、ミシンをかけます。難しいところは大人が担当し、子どもたちはひもを通したりラッピングをしたり。子どもと大人が協力してかわいい巾着ができました。9月6日に継続班のメンバーで贈呈式に。高齢者施設の利用者さんは、その巾着を手に取り「あら、かわいいわね～」など笑顔で受け取ってくれました。時間はかかりましたが、頑張りが認められて子どもたちも良い笑顔でした。



コミュニティスクール…そもその話

シリーズ企画「コミュニティスクール そもその話…」ですが、11月号、12月号は紙面の関係上お休みいたします。1月号では、10月24日に開催された宗像市小中一貫コミュニティスクール学びの丘学園研究発表会の様子を拡大版でお知らせします。

5 最後に、住民のみなさんへ！

まだまだお伝えしたいことはたくさんあるのですが、今回はこのくらいにしておきます。コミセンはすべての住民のものであり、みんながいつでも自由に利用できる場所です。まだ来られたことがない人は、買い物の帰りでも、散歩の途中でも、休憩がてら気楽に立ち寄ってみませんか。コミセンについてわからないこと、知りたいことがあれば、事務員が親切・丁寧な対応をしますので、気軽にお聞きいただければと思います。

これからもみなさんとともに歩む、親しみあるコミセンを目指して、役員一同がんばってまいりますので、今後ともよろしく願います。